

## 事業計画書

事業名	「ぶらタコリ」-歩いて知ろう沼津の歴史・地理・文化-																			
場所	沼津市 市内各所																			
期間	平成28年 7月 1日 ~ 平成29年 3月31日																			
日程	実施項目・作業項目																			
	<p>7~8月は、暑い「まちあるき」には不向きであることを考慮して、周知・宣伝期間にするとともに、実際のルートの調査にあてる。まちあるきに際しては、休憩場所やトイレの確保、交通安全は不可欠である。実施に際して予測されるトラブルを未然に防ぐため、入念な情報収集を行う。この情報収集と平行して、地域の店舗ともコンタクトを取りたい。</p> <p>9月以降、さし当たっては最低2ヶ月に1回程度のペースでまちあるきを行う。現在企画可能なテーマ(コース)は以下の3つである。テーマ(コース)は順次追加していく。</p> <p>金岡地区「東熊堂砦と『おんな城主直虎』時代の沼津」、駅南地区「ぐるっとまわろう沼津城」、香貫地区「霊山寺から見える?リアル『もののけ姫』の世界」</p> <p>いずれも最大20名程度の参加人数、2~3時間の日程を考えているが、人数や参加メンバーの状況などに合わせて短縮パターンなどを準備する。</p> <p>また、実際のまちあるきに際しては、周囲の安全確保の見守り支援などを数名のボランティアに依頼する。</p> <p>(実施内容及びスケジュール案)</p> <table border="1" data-bbox="427 1115 1342 1529"> <thead> <tr> <th colspan="2">実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td rowspan="2">周知・宣伝活動、ルートの情報収集、地域店舗等とのコンタクト</td> </tr> <tr> <td>8月</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>第1回ぶらタコリ「ぐるっとまわろう沼津城」実施</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>「ぐるっとまわろう沼津城(ショートコース)」(反響に応じて実施)</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>第2回ぶらタコリ「霊山寺から見える?リアル『もののけ姫』の世界」実施</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>室内企画「地図でさがそう新しいコース(仮)」(反響に応じて実施)</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>第3回ぶらタコリ「東熊堂砦と『おんな城主直虎』時代の沼津」実施</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>新しいコースの調査、情報収集</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>第4回ぶらタコリ  新しいコースで実施</td> </tr> </tbody> </table>	実施内容		7月	周知・宣伝活動、ルートの情報収集、地域店舗等とのコンタクト	8月	9月	第1回ぶらタコリ「ぐるっとまわろう沼津城」実施	10月	「ぐるっとまわろう沼津城(ショートコース)」(反響に応じて実施)	11月	第2回ぶらタコリ「霊山寺から見える?リアル『もののけ姫』の世界」実施	12月	室内企画「地図でさがそう新しいコース(仮)」(反響に応じて実施)	1月	第3回ぶらタコリ「東熊堂砦と『おんな城主直虎』時代の沼津」実施	2月	新しいコースの調査、情報収集	3月	第4回ぶらタコリ  新しいコースで実施
実施内容																				
7月	周知・宣伝活動、ルートの情報収集、地域店舗等とのコンタクト																			
8月																				
9月	第1回ぶらタコリ「ぐるっとまわろう沼津城」実施																			
10月	「ぐるっとまわろう沼津城(ショートコース)」(反響に応じて実施)																			
11月	第2回ぶらタコリ「霊山寺から見える?リアル『もののけ姫』の世界」実施																			
12月	室内企画「地図でさがそう新しいコース(仮)」(反響に応じて実施)																			
1月	第3回ぶらタコリ「東熊堂砦と『おんな城主直虎』時代の沼津」実施																			
2月	新しいコースの調査、情報収集																			
3月	第4回ぶらタコリ  新しいコースで実施																			
事業効果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ふだん、何気なく見過ごしていたもの、ただ通り過ぎていた坂などからまちの歴史を再発見することで、「今につながる昔」を実感し、地域に対しての愛着を深める人が増える。</li> <li>2) 身近なところから歴史や地理を学ぶことで、「学ぶ楽しさ」を実感する人が増える。</li> <li>3) 少しでも多くの親世代が1)や2)の経験を持つことで、子ども世代も地域への愛着や「学ぶ楽しさ」を持つようになり、沼津を支える次世代が育つ。</li> <li>4) 市内各所には市が建てた歴史表示板が相当数存在する。それらを活用しつつ、地域の食堂・レストランなどで昼食あるいは休憩をとることで、あらたな観光資源が発掘できる。</li> <li>5) 市民個人個人が地域の歴史を実感することは、個人レベルで新たな視点からの「沼津の魅力」情報発信につながり、結果として「沼津を訪ね歩きたい」という市外の人を増やすことになる。市外からの訪問者がまちの中を歩くこと自体が活性化であり、これは車だけに頼った「来て帰るだけの観光」ではなしえないことである。</li> </ol>																			

<p>公益性</p>	<p>多数の人に新しい知識や視点を提供すること自体が、公益性であるのは言うまでもない。</p> <p>加えて、前項でも述べたように、歴史に触れながら現在のまちを歩くことで、車に頼った「来て帰るだけの観光」とは異なった視点で観光資源を発掘することにつながる。これは、まちづくりの活性化につながる公益性を有するということである。</p>
<p>発展性</p>	<p>補助金を活用することで、解説をしながらのまちあるきのために必要な最低限の機材（ハンズフリー拡声器等）を整えることができ継続的な活動につながる。</p> <p>こういった機材は、歴史・地理のまちあるきのためだけでなく、他団体と連携した情報発信（例：防災関連団体と共同での「安政地震の爪痕めぐり」など啓蒙活動）にも使用が可能である。</p>
<p>地域性</p>	<p>まちあるきに際しては、その地域で長年暮らしてきた人と連携して、生活に根付いた歴史や遺物だけでなく、地域自慢の店などを紹介してもらうことを通して、幅広い情報発信が可能となる。</p> <p>将来的には、既存の歴史研究団体や地区コミュニティ等との連携も図るだけでなく、中学や高校の郷土クラブなどと連携して、若い力を活動に取り込むことで、事業の広がりを期したい。</p>
<p>必要性</p>	<p>既存の歴史研究団体の学習会の多くは講演会など室内で行われることが多く、実際の遺物、遺跡、文化財などに触れることが少ない。またどちらかというと年齢層の高い「歴史好き」が対象となりがちである。この「ぷらタコリ」では、それまであまりなじみが少なかった人たちを対象にし、また平易な形で歴史に触れることで、今まで以上に幅広い層が地域のなりたちに関心をもつことを目指している。これは、沼津を愛する次世代育成には必要なことである。</p>
<p>先導性</p>	<p>本事業がモデルとしているテレビ番組「プラタモリ」の人気のひとつは、過去のできごとが今日のまちや生活と結びついていることの再発見にあると考える。従来型の室内学習会では「自分たちとは関係のない遠い過去のこと」への興味という形になりがちだった地域の歴史であるが、歩くこと、実際の歴史遺物や地形などに触れることなど、地域の成り立ちがより身近なものになる。これは、まちづくりの大きな一歩につながる。</p>
<p>継続性</p>	<p>参加する人数の安定な確保を目指して、facebookなどでさらなる周知・宣伝を行う。当面の運転資金は参加費で賄うことが可能だが、クラウドファンディングでの運営費用獲得も視野にいれたい。</p>